

鬼北町議会 9月定例会

第3回鬼北町議会定例会は9月19、25の2日間で開催されました。会では議案9件、認定12件が提案され、全ての案件について原案のとおり可決、認定されました。

議案

- 鬼北町有代替バス条例の一部を改正する条例について
- 宇和島地区広域事務組合理約の変更について
- 財産の取得について
- 平成30年度鬼北町一般会計補正予算(第4号)について
- 平成30年度鬼北町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)について
- 平成30年度鬼北町国民健康保険診療所特別会計補正予算(第1号)について
- 平成30年度鬼北町介護保険特別会計補正予算(第1号)について
- 平成30年度鬼北町水道事業会計補正予算(第1号)について
- 平成30年度鬼北町病院事業会計補正予算(第1号)について

認定

- 平成29年度鬼北町一般会計決算の認定について
- 平成29年度鬼北町用品調達特別会計決算の認定について
- 平成29年度鬼北町住宅新築資金等貸付事業特別会計決算の認定について
- 平成29年度鬼北町国民健康保険特別会計決算の認定について

- 平成29年度鬼北町国民健康保険診療所特別会計決算の認定について
- 平成29年度鬼北町農業集落排水事業特別会計決算の認定について
- 平成29年度鬼北町浄化槽市町村整備推進事業特別会計決算の認定について
- 平成29年度鬼北町介護保険特別会計決算の認定について
- 平成29年度鬼北町後期高齢者医療保険特別会計決算の認定について
- 平成29年度鬼北町ニュータウン鬼北の里特別会計決算の認定について
- 平成29年度鬼北町水道事業会計決算の認定について
- 平成29年度鬼北町病院事業会計決算の認定について

一般質問

◆木廣 啓 議員

【西日本豪雨災害について】

問 現在、当町には何カ所の浄水場があるのか。

答 上水道事業は11カ所、日吉地区の小規模水道施設は14カ所。全部で25カ所の浄水場がある。

問 その浄水場は、配管も含めて耐用年数等条件を満たしているのか。

答 浄水設備の耐用年数は60年であり、各施設とも条件は満たしているが、浄水場内の配管については、耐用年数の40年を過ぎている施設が3カ所ある。

問 その浄水場は、土砂崩落等に対して、安全な立地条件を確保できているのか。

答 近永地区にある2カ所の浄水場を除いて、すべて山の中腹または麓の河川のそばに建設されている。安全面の確保という点で、愛媛県が調査している土砂災害警戒区域等を基準とすると、これに隣接している浄水場が4カ所ある。安全面の確保が十分にできているとは言い切れないが、全部の浄水場について、西日本豪雨で被災した施設はなかった。

問 災害時の井戸水利用は有効と思われる。井戸水の利用と水質検査に要する補助金等を出す考えはないのか。

答 現在、井戸水の水質検査に対する町としての補助金はないが、個人が設置されている井戸水を、災害時に飲用以外の生活用水として、地域住民の方に提供していただけの場合、自主防災組織等連絡協議会に、「災害応急用井戸等登録申込み」をしていただくと、水質検査費用を連絡協議会が負担することとしている。

問 自主防災組織が今回の災害時において、どのような行動・活動をしたのか、町は把握しているのか。

答 今回の7月豪雨時に、町内各地区

の自主防災組織がどのような行動や活動をしたのか、そのすべては把握できていないが、いくつかの自主防災組織においては、要援護者宅への声掛け・安否確認、公民館までの避難の手助け、消防団と協力し、土のう積み等の活動をしていただいたことは把握している。今後においては、自主防災組織の活動と協働体制の強化を図るため、連絡協議会の総会等を通じて、災害時等に自主防災組織として取り組んでいただきたいことを周知徹底するとともに、連絡体制の確立を図っていきたいと考えている。

【公共交通網の整備等について】

問 地域公共交通網の策定計画書はできているのか。

答 公共交通網形成計画書については、平成30年度から平成34年度までの5年間を計画期間として、平成30年3月に策定したところである。

計画書の内容については、町内全域の地域の現状、地域公共交通の現状等を住民アンケートにより把握し、それによる課題を精査分析するとともに、地域の実態に即し、将来にわたり持続可能な地域公共交通体系を構築するための計画の基本方針と目標を盛り込んだ内容としている。

なお、計画書については、現在、ホームページに掲載するとともに、広報きほく10月号にも概要版の掲載を予定しているところである。

問 愛治線、日吉線の運行支援策および運行状況について

答 平成29年度まではタクシー会社運